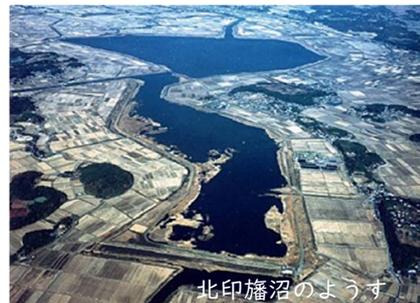
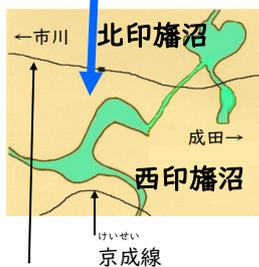


(2) 印旛沼の開発

つかむ



今の印旛沼の写真を見て、気づいたことを話し合いました。



〈写真：印旛沼流域水循環健全化会議HPより〉

田んぼがきれいに整
び
されて
なら
んで
いる
ね。

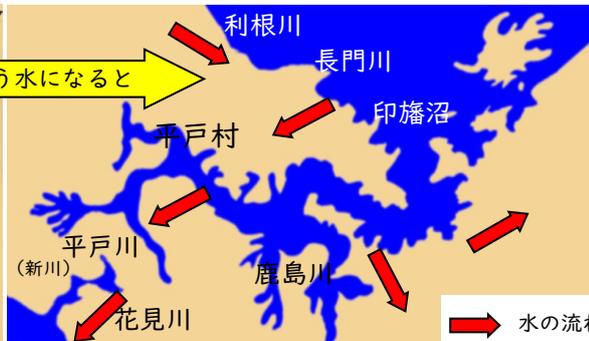
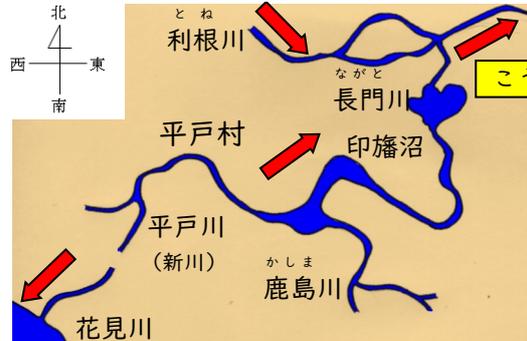


成田スカイアクセス (北総線)

今の印旛沼は、きちんと整
び
され
てい
ま
す。
昔の
よう
すは
どう
だ
っ
た
の
で
し
ょう。



昔の印旛沼のようす (ふだん)



こう水になると

水の流れ

小屋が沼の水でしずんでいるよ。



水につかった小屋 (印西市立印旛歴史民俗資料館)

昔の印旛沼は大雨になると、利根川の水が
逆
流
し
て、沼の水があふれてこう水になり
ま
し
た。そのため“あばれ沼”とよばれ、死
ん
だ
人
も
い
た
そ
う
で
す。はやくみんなが安心
し
て
く
ら
せ
る
よ
う
に
し
た
か
っ
た
そ
う
で
す。

昔の人たちは、大変だった
ん
だ
な。どうやって、今のよ
う
に
な
っ
て
き
た
の
か
な？



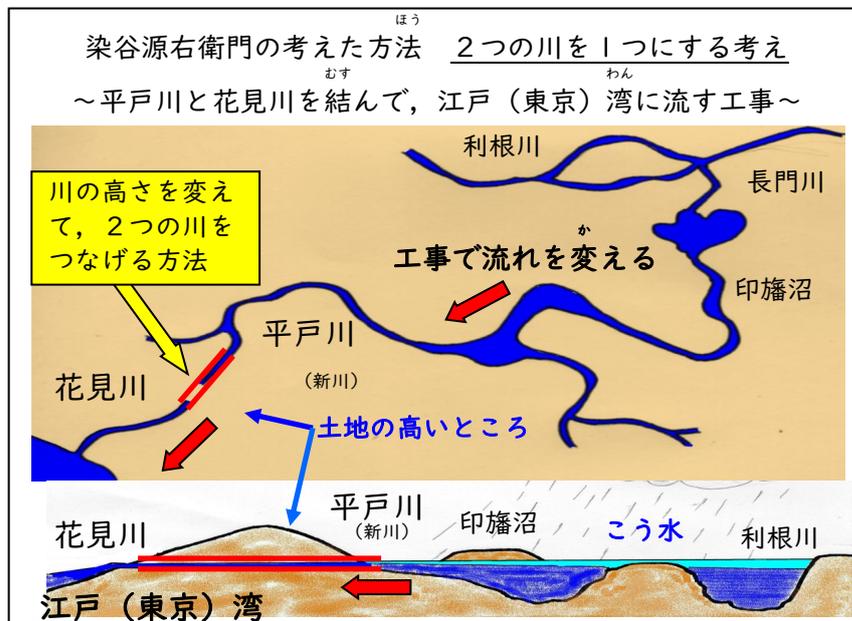
印旛沼の洪水をなくすために、昔の人々は、どのような対策をしてきたのでしょうか。

しらべよう・みてみよう

江戸時代、平戸村(今の八千代市)の名主で、染谷源右衛門という人がこう水をふせぐ方法を考えました。



染谷源右衛門
(八千代市
商工会議所作成)



名主(なぬし)

江戸時代、村を
 たん当した村のせ
 きにん者(村長の
 ような立場)

幕府(ばくふ)

武士を中心とし
 た政治のしくみ

開発

山野や原野など
 を切り開いて、
 人が利用できるよ
 うにすること。



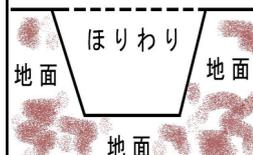
どのようにして工事を進めたのかな？

幕府からお金を出してもらい、足りない分は自分たちのお金を出して印旛沼の開発に取り組みました。しかし、当時の工事は機械もなく、すべて人の力にたよっていました。

印旛沼のまわりの土はやわらかく、ほりわり工事をするとすぐにくずれてしまったそうです。

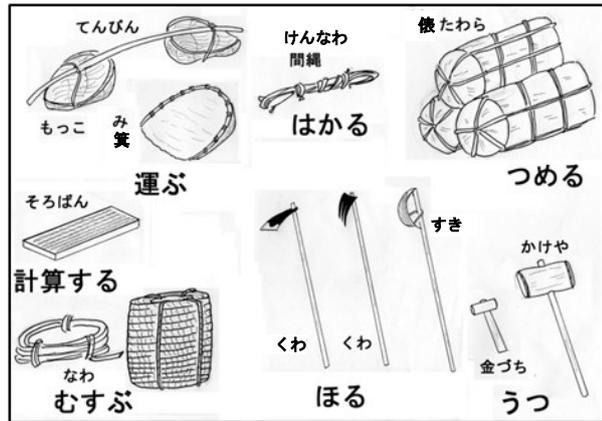


ほりわり
 地面をほって水を通
 した所↓





はたら ぞくほていき
働いている人のようす「続保定記」



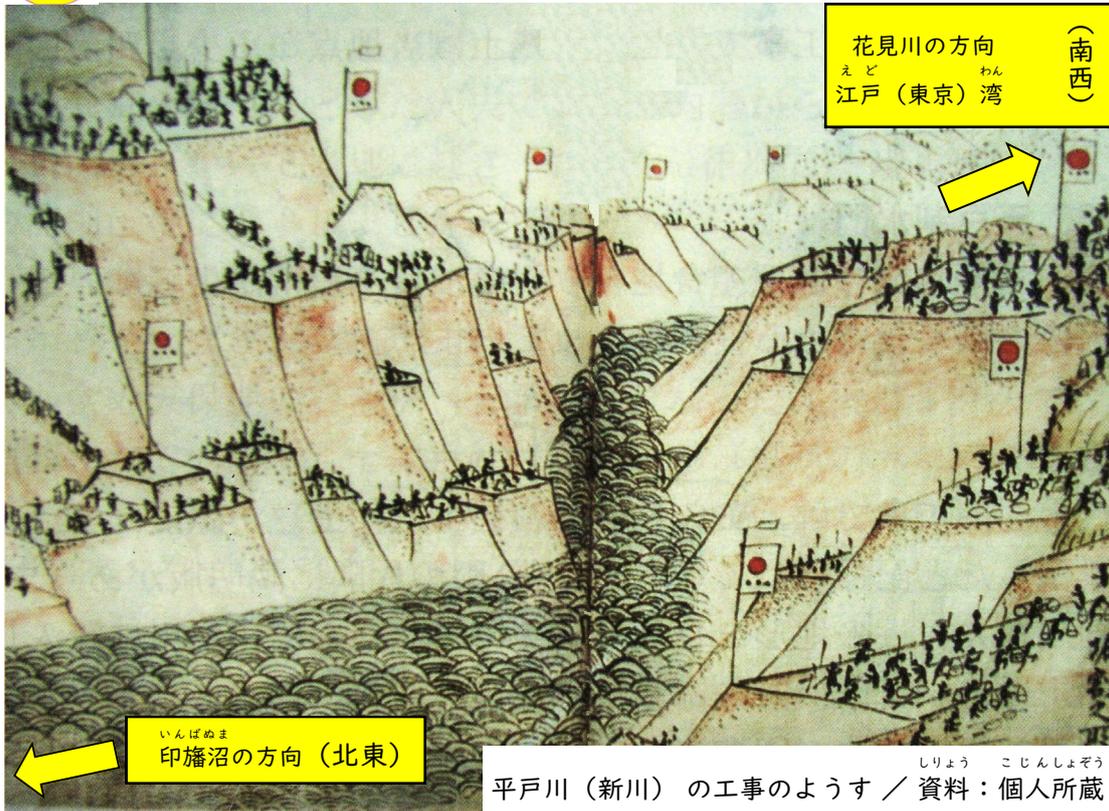
使われた道具



たくさんの人が働いているね。



ほりわりが見えるね。



花見川の方 (南西)
えど わん
江戸 (東京) 湾

いんぱぬま
印旛沼の方 (北東)

平戸川 (新川) の工事のようす / 資料: 個人所蔵

3つの絵を見て、当時の工事のようすはどうだったのか考えてみましょう。

やがて働く人にはらうお金がなくなり、今度は源右衛門自身の田や畑を売りながら工事を進めました。
しかし、とうとうお金がなくなってしまう、工事を中止にしなければいけなくなりました。



印旛沼の開発年表

年代	ことがら	年代	ことがら
1621年 げんな (元和7年)	とね 利根川などの流れを変える。	1890年 めいじ (明治23年)	明治の前半の最大のこう水が起きる。
1724年 きょうほう (享保9年)	やちよ 平戸村(今の八千代市)の染谷 源右衛門が工事を行った。	1898年 (明治31年)	千葉県知事が県営事業として、 工事を計画する。
1726年 (享保11年)	染谷源右衛門のお金がなくなり 工事が中止になった。	1946年 (昭和21年)	染谷源右衛門の考えをもとに、 国(農林省)が国営事業として工 事をはじめる(機械を使う)
1783年 (天明3年)	染谷源右衛門の考えをもと に、幕府の田沼意次が工事を したが中止になった。		
1812年 (文化9年)	江戸時代の後半で最大のはん らんが起きる。	1969年 (昭和44年)	印旛沼の工事が完成する ※染谷源右衛門の苦労が240 年後に実った。
1843年 てんぼう (天保14年)	幕府の水野忠邦が5つの藩に 命じて工事をしたが中止に なった。		

「印旛沼の開発年表」を見て、気づいたことを
発表しました。



いろいろな人たちが、源右衛門の考えた方法
をもとに工事を進めたけど、なかなかうまくい
かなかったんだね。



昭和時代になって“機械”を
使って工事をすすめたんだね。



いろいろな人々が、長い年月をかけて、
苦労しながら工事をしたんだね。

八千代市立きょう土博物館の人の話

染谷源右衛門は、千葉県の誇るきょう土の偉人です。こう水を防ぐために、花
見川と旧平戸川(新川)の2つの川を1つにするアイデアを考えた人と言われて
います。現在の印旛沼の姿は、源右衛門の考えが活かされており、源右衛門は、
“印旛沼開削の祖”とも言える人で、地元の人からも親しまれています。

いんばぬま
今の印旛沼のようす



印旛水門



印旛排水機場



昔は“あばれ沼”とよばれた印旛沼も、今は整ひされ、いろいろなところで利用され、安心して生活できるようになりました。

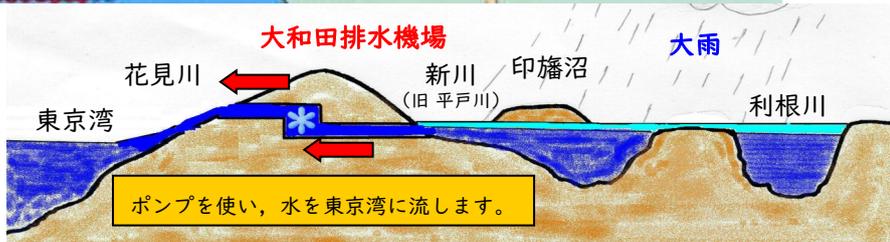


昔とくらべて、今はこう水もなく、安心してくらすことができるんだね。



花見川

げんさい
現在の印旛沼はどのように整ひされているのでしょうか。



しげん きこう そうごうかんりじょ
水資源開発機構・千葉県用水総合管理所の人の話

現在の印旛沼は、大雨で利根川の水位があがり、印旛沼の水を排水できなくなった時は、利根川につながる印旛水門を使って逆流するのを防ぐようにしています。印旛沼の水位が下がらないような大雨の時は、大和田排水機場のポンプを動かし、花見川を通じて東京湾に排水します。これは源右衛門の考えを生かした方法です。

まとめよう・つたえよう・いかそう



わたしはそめや染谷源右衛門に
手紙を書いたよ。

染谷源右衛門さんへ

4年〇組 ○○○○

.....

.....



ぼくはほうこく報告文を書いたよ。

印旛沼の開発の学習をして

4年〇組 ○○○○

.....

.....



ぼくは、新聞を作ったよ。

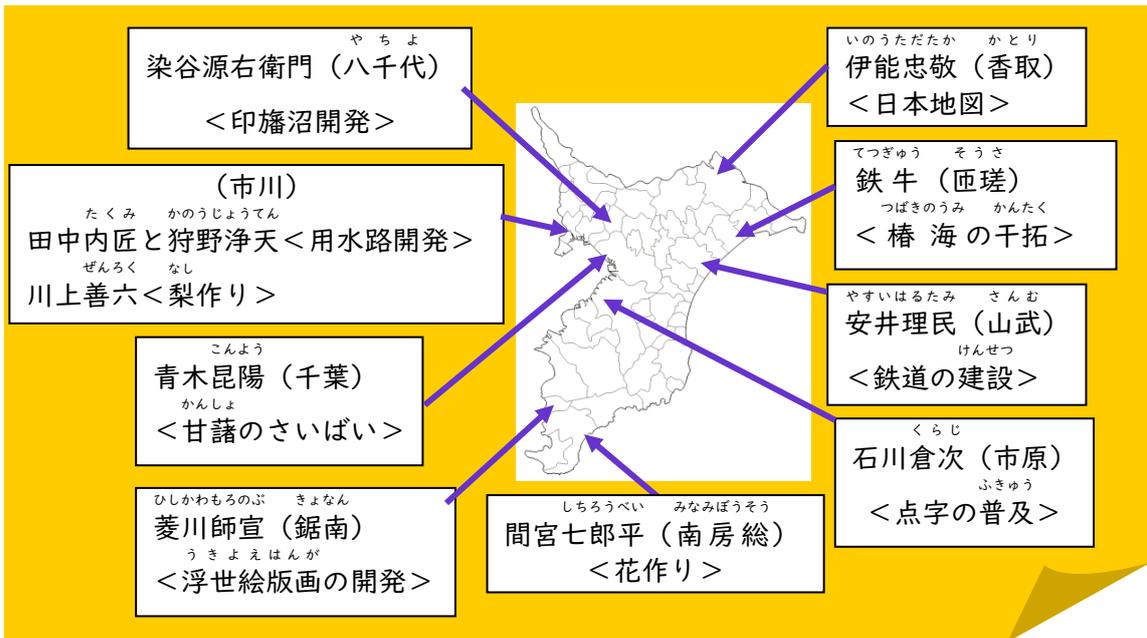
染谷源右衛門新聞		発行日〇年〇月〇日 4年〇組 ○○○○	
あばれ沼と たかかった人々	染谷源右衛門 の考えた方法 2つの川を1 つにする考え ~平戸川と花 見川を結ん で、江戸(東 京)わんに流 す工事~ 	米は三年に 一度しかと れない..
たいへんだった 工事	染谷源右衛門さんに インタビュー



わたしはしばい紙芝居を作ったよ。

染谷源右衛門物語

染谷源右衛門さん以外にも、
千葉県内の文化や地いきの発てんに
つくした人がたくさんいるんだね。



なし
※ 市川市と梨 (読み物)



昔の千葉県内の代表的な特産品
 ※ 今も特産品となっているものもあります

- 市川 …………… 梨
- 野田・銚子 ……… しょう油
- 流山 …………… みりん
- 八街 …………… 落花生
- いすみ(大原), 銚子…いわし
- 南房総(千倉), 鴨川…かつお
- 香取(佐原) ……… 酒



おいしそうな梨だね。



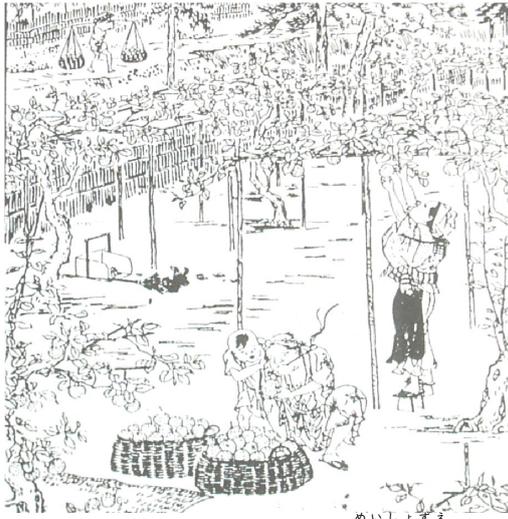
市川市では昔から梨を作っていたのかな。

ゆきさんたちは、市川市の梨が
 いつごろから、どのように作られるよ
 うになったのか調べてみました。

市役所の人の話

今から250年ほど前、八幡村で寺子屋の先生をしていた川上善六は、まずしい農民の生活をすくうため、市川の土地にあったよい特産品はないかとさがしていました。

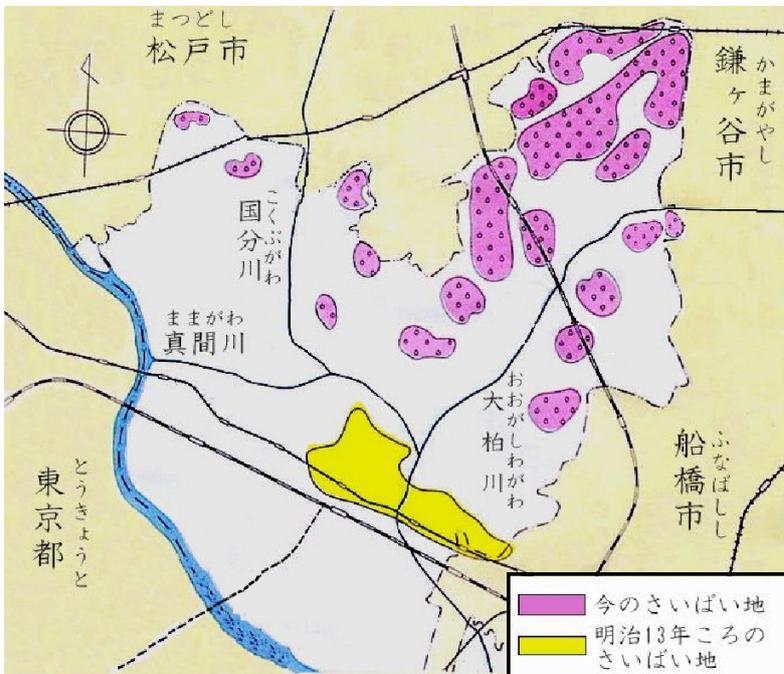
いろいろ調べたところ、砂地の市川には梨作りがよいと考えました。善六は、美濃の国(今の岐阜県)まで行き、梨の育て方を教わりました。そして、じょうぶそうな梨の枝を分けてもらい、市川まで持ち帰りました。途中、梨の枝がかれないように大根にさして運んだともいわれています。八幡村に持ち帰った梨の枝を大切に育て、苦勞のすえ数年後には、りっぱな実をつけることができました。やがて梨作りをやってみたいという人がふえ、善六は親切に育て方を教えてあげました。そして、江戸時代の終わりには、八幡、市川、国分、大柏、中山あたりで梨作りがさかんになり、村のくらしはだいぶゆたかになりました。市川の梨を、将軍が食べたという記ろくもあります。



梨の取り入れのようす (江戸名所図会)



川上善六の記念碑 (八幡 葛飾八幡宮)



梨のさいばい地の変化



梨作り農家の人の話

総武線が開通してから、梨作りはだんだん北へうつつていきました。今では大町、大野町、柏井町を中心に、上の地図のように北部の地いきでさいばいされています。

昔は「長十郎」や「二十世紀」をたくさん作っていましたが、今は「幸水」、
「豊水」、
「新高」などを多く作るようになりました。食べる人の好みに合わせているんです。市川は千葉県の中でも一番の梨の生産地です。これも、善六さんが美濃から苦労して運んできた小さな苗木が始まりなんです。